Mt. Victoria Project

ふろタン通史 其の参

（2015.9～2017.2）

NPO法人 ふろんてぃあタウン工房

ビクトリア山第3次調査に向かって！

ふろタン通信NO.11（2015.10.26）

第3次調査隊派遣が一月後に迫った10月の「山木会」は、瀬川・森田・森下3氏メンバーに第1次・第2次メンバーも加わっての最終打ち合わせの場になりました。

ビクトリア山登山ガイドマップ完成のための現地精査を目指してGO!

ふろタン通信NO.12（2015.12.11）

11月8日のミャンマー総選挙の1週間後、アウンサンスーチーさんの勝利が伝えられる歴史の転換期に出発した**第3次隊（11月16～23日）が、最後のとりまとめ調査隊としての役目を果たして元気に帰国しました。**

ふろタン通信NO.13（2016.2.19）

1月20日新春報告会を開催しました。

NPO法人　ふろんてぃあタウン工房

ふろタン通信

2015年　10月　26日　広報センター　　No．11

MT.VICTORIA　PROJECT

「ビクトリア山第3次調査隊」　愈々11月16日に出発！

□10月の「山木会」で結団式（？）準備万端です

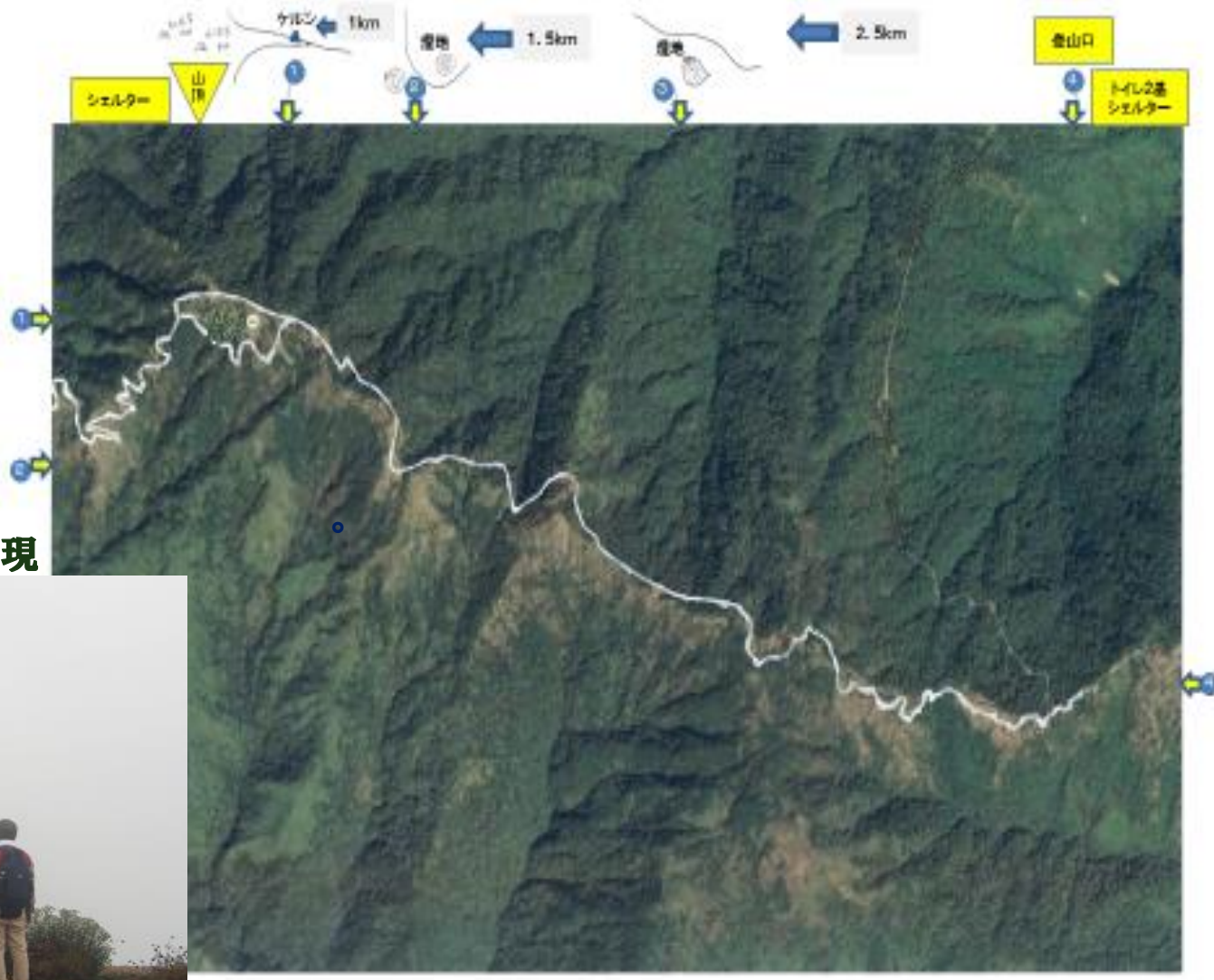
一年前の「ふろタン通信」NO.5からお伝えしてきました第３次調査隊の派遣、この度メデタク**精鋭チーム（瀬川・森田・森下）の結成**が最終確定し、10月の「山木会」では第１次隊（江頭・室井）と第２次隊（赤川）の参加メンバーも顔を合わせての作戦会議が行われました。「通信」NO.5に書かれているように、**第３次調査隊のミッションは「ビクトリア山の登山ガイドマップ作成のための登山ルート調査」**、第１・２次調査隊よりも時間をかけて登山道を歩き、今回調査のために準備したベースマップ（第２次調査隊がナマタン国立公園事務所から提供を受けた地形図とグーグルの衛星写真を重ね合わせた竹川賛助会員の労作です）を持参して、書き込み調査を行います。第２次調査隊の国立公園事務所との話し合いをフォローアップし、マップの早期完成に３部会の協力体制で取り組むことを確認しました。現地での移動スケジュール・旅行手続き等の説明（PIT八井）もテキパキと進められて遠征準備完了、話題は残留組メンバーとみんなで一緒に進める27年度後期の会員拡大活動や、帰国報告会の開催へと移り、短い時間でしたが中身の濃い「山木会」でした。

第３次調査隊は、11月16日11：45成田発全日空NH813で出発します。時間がなく壮行会ナシということになりましたが、ＮＰＯ法人設立後の最初の調査隊になりますので、キチンと準備した**帰国報告会を12月～1月中に開催**することにしました。日程等決まり次第会員・サポーターの皆さんにご案内しますので、**ぜひご参加ください。**

□登山ガイドブックの試作販売をきっかけに　村おこし活動へとステップアップ！

「登山ガイドマップ」作成については、「ふろタン通信」NO.4（2014.8.12）NO.5と続けてお伝えしてきましたが、NPO法人の収益事業として試作販売し、調査活動から村おこし活動へステップアップするきっかけにしたいと取り組んでいます。現地販売も想定して日本語版と英語版セットでの作成を進めてきましたが、第３次調査隊の結成までに時間がかかったことが幸いし（？）森田ご夫妻翻訳の英語版の作成もほぼ完了しています。今回の登山ルート調査を反映した「登山ガイドマップ」

第3次隊はトレッキングルートと自然植生の調査隊



三角点ピークには大仏様が出現
（ブッダピーク）

衛星携帯電話と万歩計を使って距離と時間を調査

ガイドのチョーさんとチン族の娘さん達

帰国報告会での3次隊メンバー

2015年12月13日　第4回「ふろタンインタビュー」

「植物図鑑で森守れ」

ナマタン国立公園の有用植物資源調査

2015年7月2日付「東京新聞（夕刊）」

「ヒマラヤ植物研究会」で藤川さんの講演を聞き
アースウオッチ・ジャパンの事務所へ移動しての
インタビューでした。

藤川さん（牧野植物園）と
安田さん（アースウオッチ・ジャパン）

ヒマラヤ植物研究会
創立30周年記念シンポジウム
ヒマラヤの植物研究 この30年 これからの30年

2015年12月13日(日)

時間：13:15-17:00
場所：東京大学本郷キャンパス
理学部2号館講堂

13:15-13:20　イントロダクション
13:20-13:40　東京大学のヒマラヤ植物研究
大場秀章（東京大学名誉教授）
13:40-14:05　The Society of Himalayan Botany and Himalayan Plants
Keshab Raj Rajbhandari（ネパール・植物資源局）
14:05-14:30　ヒマラヤのキク科トウヒレン属の植物多様性
～私がヒマラヤから学んだこと～
藤川和美（高知県立 牧野植物園）
14:50-15:15　Hengduan Mountains –Hotspot of Biodiversity
David E. Boufford（アメリカ・ハーバード大学）
15:15-15:40　ヒマラヤ産シャクナゲ属における集団の分化と木材構造
能城修一（森林総合研究所）
15:40-16:05　ヒマラヤのセーター植物 *Saussurea laminamaensis*
（キク科）の送粉昆虫
中路真嘉（首都大学東京 牧野標本館）
16:05-16:30　水をはじく花びら
種子田春彦（東京大学大学院 理学系研究科）
16:35-17:00　Diversity and Endemism of Plants
in Bhutan　Rinchen Yangzom
（ブータン・生物多様性センター）

主催：ヒマラヤ植物研究会
お問い合わせ
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学総合研究博物館 内
池田 博
Tel/Fax: 03-5841-2839
E-mail: h_ikeda@um.u-tokyo.ac.jp

2015年7月2日 6

植物図鑑で森守れ

刻む記憶

ミャンマー 有用識別へ作製中

標高3000㍍に近づいた。下方の斜面はまるでブロッコリーのように見える。広葉樹林が密度を保ち繁茂する原始林。時折、鳴き声のように響が聞け上り、木々を揺ら。時々に青空を背にするシダや白い花のランがそのたび深く呼吸している感ようだ。

ミャンマー中西部のヂン州に広がるナマタン（標高3053㍍、英語名・ビクトリア山）は、地元の言葉で「神々にゆだねられた山」を意味する。焼き畑を耕作で生活してきたチン族が住む地域だ。

種を知る

高原には青紫色の花の群生が広がっていた。「キンポウゲ科のアネモネの仲間です。花の時期は一」。藤川和英（45）が説明しながら、標本作製の準備を始めた。

ナマタン国立公園森林局のロ・シェイン（48）が丁寧に掘り出し、根に付いた土を落とす。レンジャーのリン・シェン・マン（44）が新聞紙のトに形を整え置いていく。

藤川がイラ科との部分け方を説明すると、2人は記憶を確認するようにうなずく。かつて、下に取ったこの花にはビルマ語の名前がない。その必要がなかったからだ。

ミャンマーでの植物調査は2002年に始まり、藤川らはこれまで推定約3500種、約1万6000枚もの標本を収集した。藤川が研究員を務める「高知県立牧野植物園」（高知市）を中心に、タイや中国、米英の植物園などと協力しながら植物種を特定していく。

今年12月にはこの公園の植物の同定が終わり、再来年3月には植物図鑑ができる。ミャンマーには植物を網羅した図鑑がまだない。藤川らはその第一歩を踏み出した。

「種を知ることで植物、自然が分かってきた」「住民に自然保護を教えるときに図鑑は不可欠だ」。ロ・シュインらがぼやき始めた。自らの意思で自然保護に向き合い始めた2人に、藤川は手応えを感じている。

多くの固有種

ナマタンは3000㍍を超える丘陵地にある唯一3000㍍を超す山で、固有種も多く、東南アジア諸国連合（ASEAN）遺産公園にも指定された貴重な自然が残る。

「私たちは伝統的なルールに従って森を守り、水を守ってきた。それがどんどん壊れている」。元国立公園長で、今は自然保護活動をするシェン・ゲイ・ガイ（56）が顔を曇らせた。

山頂を中心に「自然保護上重要な国立公園の核心地域がある。公園側が反対したにもかかわらず、そこを車やオートバイが通れる道が敷設した。山の向こうに住む村人の利便が理由だった。

その道を車両の中、藤川らと乗って戻った。雨水に溶けた水が大量の土砂を押し流し、貴重な植物を傷めつける。渓流沿いの水辺に次々と捨てられた。ドブ水の林道沿いでも見られた自然破壊の痕跡がここにもあった。

公園の核心地域を開発しないように設定が提案されている緩衝地域の森林でも開発が進む。村人の主食となるトウモロコシを育てるための焼き畑、海外からの観光客を当て込んだホテルの建設…。中国の影もある。薬用ランが密漁され輸出されて取引され、野生コンニャクイモの乱獲も深刻だ。

「昔の焼き畑では同じ場所に火を付けるのは30年に1度程度だったが、人口増加もあって回数が増えている。最後は荒れ地、裸土が残され荒れ地になる」。藤川は森の未来を危ぶむ。

シェン・ゲイ・ガイも「村人は焼き畑をやめたいと考え始めている。代替策にはまず、つくりの支援が必要だ」と訴えた。

すべての基礎

藤川は植物分類学者ではあるまい。住民の生活向上を通じて、自然を保護しようとの取り組みを進めている。

農家は薬用ランを組織栽培で増やすことを目指したが、収穫まで時間がかかる。次に野生コンニャク採取に取り組んだ。

「コンニャクは水が好きだが、水はけが悪い土地では育たず、平地では加工だ。そのうえから冷涼で雨の多いところにあったりだ」。06年から国際協力機構（JICA）の指導として、牧野植物園から派遣され、藤川を2年間指導した松本義夫（57）が言う。

栽培されたコンニャクイモは中国だけでなくムムへも輸出される。コンニャク御殿と呼ばれる住宅を建てるほど潤ったりするに家も出てきた。

ただ、花の色を見れば種類の違いが分かるにもかかわらず、粗悪品が出て加工に向かない種をつくる例もあるという。

藤川が上本入れた、「図鑑があるからこそ有用種を識別し、その活用策を練ることができる。植物の知れるある種を知り保護戦略ができる。図鑑は薬用植物、自然保護、すべての基礎だ」。

牧野植物園は「日本植物分類学の父」と呼ばれた牧野富太郎博士の業績をたたえ見開設された。牧野が日本で図鑑をつくったとき苦労したに違いない。きっとこうだったに違いない。

（文・社会部 藤井、写真・村山平治 共同、敬称略）

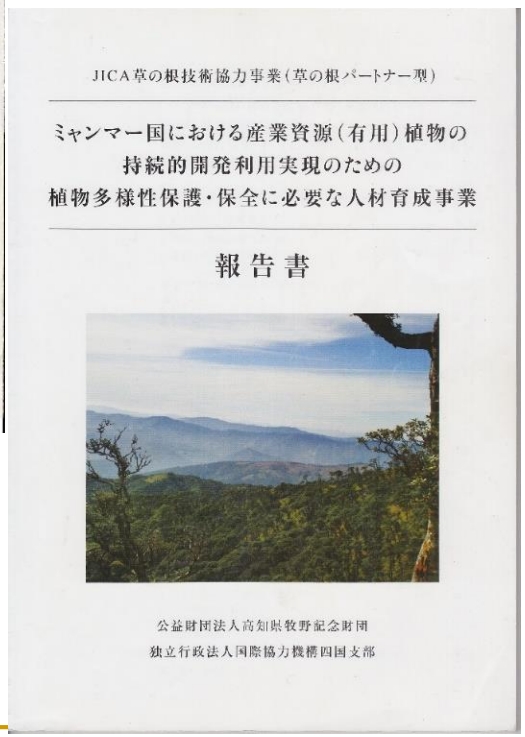
記者ノート

高知県出身の植物学者、故牧野富太郎は生涯約40万枚もの標本を収集し、新種や新品種など約1500種以上の植物を命名したという。1940年に開館した牧野日本植物図鑑は今でも研究者、愛好家の必携の図鑑となっている。

ムムの図鑑を見れば、その植物の名前が分かり、薬や食料に使えるか否かどうか、毒か薬なのか、ラテン語で示す学名に対応する和名は何か、これらがすぐに分かる。

ただ、熱帯地域、国境を中心に、植物図鑑が整備されていない地域はまだまだ多い。藤川例年によれば、アジアでは日本、中国などが作成済みとなっている。一方、藤川の手掛ける本ミャンマーは標本を収集している段階、ラオス、カンボジアも同じ段階だ。タイやネパールなどではそれより進んでいるという。

2015年7月2日付「東京新聞（夕刊）」



JICA草の根技術協力事業（草の根パートナー型）

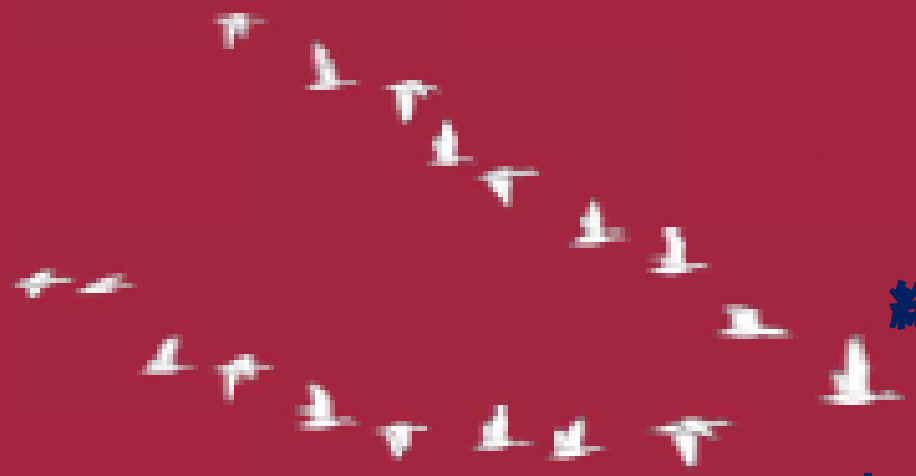
ミャンマー国における産業資源（有用）植物の持続的開発利用実現のための植物多様性保護・保全に必要な人材育成事業

報告書

公益財団法人高知県牧野記念財団
独立行政法人国際協力機構四国支部

「有用植物調査報告書」（牧野植物園＋JICA）

2016年4月5日　平成28年度通常総会開催



総会では新年度の活動計画として

（1）登山道整備活動への参加や
森の道づくり団体とのネット交流など、
目的を共有できる団体との協力・連携体制を
進化させること

（2）日緬交流型のスタディツアーを企画し、
トレッキングマップの作成・発行に取り組むこと

が話し合われました。

ミャンマー

NPO法人 ふろんてぃあタウン工房

ふろタン通信

2016年4月21日　広報センター　No．14

MT.VICTORIA PROJECT

特集 H28年度NPO総会の報告 (4/5 千代田区有楽町ビルにて開催)

・H28年度の活動計画と予算である事業計画と新役員等が全員一致で承認決定されました。

出席者：正会員13名（うち委任状４名）

■ H28年度NPO総会の報告

・４月５日午後４時に千代田区有楽町ﾋﾞﾙにて、H28年度総会が開催されました。
正会員13名のうち出席９名と委任状４名でH27年度活動･決算とH27年度計画(活動計画と予算)は全員一致で承認されました。また新役員選任(新任・交代)が全員一致で承認されました。

○ H28年度の重点目標

今まで取り組んできた目的を共有できる団体との協力･連携ネットワークづくりをさらに進化させる。

Ⅰ．辺境での地での持続的な遠征･活動体制の確立を図るとともに

Ⅱ．国内活動も積極的に企画して引き続き賛助会員(個人･団体)の拡大に取り組み

Ⅲ．村おこしを目指した本格的な取り組み（収益事業）を開始する。

○H28年度の主な活動計画

時　期	事業名	活　動　内　容	備　考
上期～	森の道づくり	国内の森の道づくり団体とのネット交流	準備中
7/2.	御嶽山復旧活動	登山道整備／木曽ユネスコ協会行事に参加	次号で案内
11月	スタディツアー	ミャンマー交流型トレッキングツアー	企画中
通　年	国内の交流活動	サポーターとの交流イベントの企画推進	企画中
	地域産業育成	村おこし活動の企画提案	企画中
	収益事業活動	トレッキングマップの作成・発行	作成中
	図書の販売	活動図書(読本)の販売	販売中

○役員の選任

・新役員　新理事/宮本保宏(渉外担当)、朝倉正浩(事務局長)，高田睦夫(事務局次長)
新監事/濱崎良治　（濱崎・宮本両氏は任期途中退任→交代）

**総会の報告を掲載した
第14号以降の「ふろタン通信」では、
目的を共有して今迄連携・協力してきた
団体の活動・行事についても、
色々と紹介しています**

**木曾ユネスコ協会
ミンガラバー・ユネスコクラブ
アースウオッチ・ジャパン
ピース・イン・ツアー
まちナビ倶楽部
ひるまの竪琴　etc.**

**これからも、
森の道づくりに取り組んでいる
国内の多くの団体と交流し、
その活動について紹介していきます**

2016年5月19日　第5回「ふろタンインタビュー」

「百名山登山にも色々なシナリオがある！」

十勝会館前の小山のある遊び場
役者人生と単独行の山

子供の頃の遊び場

小野寺昭さん
（所属事務所フロムファースト会議室にて）

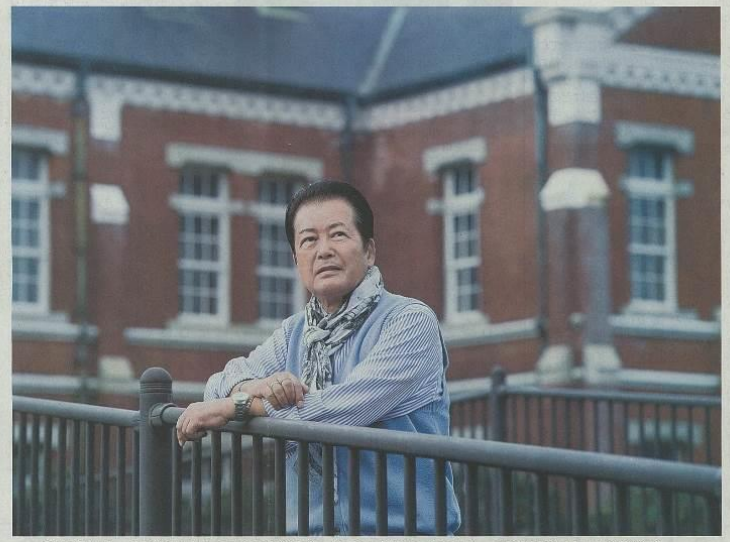
ひとり歩きで愉しむ「百名山」踏破

夕刊　毎日新聞　（第3種郵便物認可）

人生は夕方から楽しくなる

俳優　小野寺昭さん

目標は「百名山」踏破
演技に通じる感動



「年を重ねると、それまでの人生っていうのが顔とか、体つきとかに出るんですよ」＝東京都千代田区で、竹内幹撮影

柔らかな物腰と口調、そして甘いマスク。年齢は積み重ねたが、大ヒットドラマ「太陽にほえろ！」での当たり役「殿下」の貴公子のようなイメージはそのまま。だが、本人は北海道の田舎育ち。都会的な印象を与えるあの役は、自分にはミスマッチだと思っていた。だから、役を終えても「殿下」と呼ばれ続けることに一時は抵抗もあったという。

「既に終わった役の印象が染み付いてしまうのが嫌でした。でも、ふと考えたんです。役者の世界で『殿下』と呼ばれるのは俺だけだよな。それって、結構すごいことなんじゃないかって」。そう思うと、呼ばれることも気にならなくなった。

引っ込み思案で、人前で話をするのが苦手な子供だった。だが、学芸会のような行事で、自分と同じ普通の子供たちが演じる劇を見て、「舞台に立てば、せりふを言ったり、歌ったりすることができるんだ」と気付いた。父親が市職員の傍ら、アマチュア劇団を主宰していたこともあり、高校卒業後に俳優を目指して上京した。演技の世界のキャリアは既に半世紀近くになる。大阪芸術大と地方テレビ局の蹴学院同ドラマへの出演をきっかけに、2007年からは同大短期大学部教授として、学生に演技の指導をしている。

「役作りというと、自分ではない別の人間を作り上げることを思い浮かべるかもしれません。ですが、そんなことはできない。学生にはそれより、自分のキャラクターをしっかり表現できるこの思いをきちんと表現できることは、演技に限らず社会でも必要なことです」。そんなふうに演技の意味を伝えている。

52歳の時に登山を始めた。テレビの旅番組のロケで九州・霧島連山の最高峰、韓国岳（標高1700㍍）に登ったことがきっかけだ。小雨が降り、霧の中で寒さも感じる登山だったが、山頂で食べたおにぎりがとてもおいしく感じられた。「つらい思いをして頂上に登っても、霧で何も見えない。でも、おにぎりがとてもおいしい。苦しいことを乗り越えた時の快感が大きいタイプなんです。俳優って少しナルシストなところがありますから、自己陶酔的な部分がくすぐられたのでしょう。『なんか山っていいな』ってその時に思ったんです」

そこで自標に掲げたのは、深田久弥さんの「日本百名山」の踏破だった。気ままに登りたいので、いつも1人で登る単独行だ。1年間に26座を登ったこともある。忘れられない登山の一つに、山形県と秋田県にまたがる百名山の一つ鳥海山（同2236㍍）がある。時期は6月末、まだ雪渓が残っていた。だが、天候に恵まれず、やはり霧で何も見えない。「駄目か」と諦めかけて頂上に登ったところ、まるで奇跡と思えるぐらいに突然、晴れた。頂上付近から見た眺めは、真っ青な空、雪渓の白、7合目付近にある鳥海湖のエメラルドグリーンが作り出すコントラストが美しく、目に焼きついた。

なぜ、その時に鳥海山の登山だったのか。答えは意面目な人柄が表れた。「NHKの番組で鳥海山を紹介することになりました。だから、下見しようと思い、2回登ったのです。1度目は霧で全く見えず、2度目でようやくあの光景が見られたのです。これでどんなものかを伝えられると思いました。結局、番組は台風で中止。それもあって記憶に残っているのです」。百名山は60座まで踏破している。

3年前から短大のメディア・芸術学科の学科長にも就任。週の半分を大阪で過ごし、以前のようなペースでは山に行けなくなった。でも、ナレーションを務めるテレビ番組、絶景百名山（BSフジ）で山の映像を見ると出かけたくなる。「番組のスタッフに『僕も行きたいな』と不平を言ったら、『では、行きましょう』とナレーター自らが登る企画を立ててくれました。山登りはトレーニングだと思っています。登れる体力がある限りは舞台にも立てるはず」

登山と演技に通じる部分はあるのだろうか。「あります。演劇ならば稽古を積み重ね、公演本番にベストの状態にし、成功すれば達成感があります。登山も綿密に計画を立て、頂上へと向かい、その先に感動が待っているんです」

役者人生も登山も、まだまだこれからだと思っている。次のピークを目指す気持ちに終わりはない。【庄司哲也】

おのでら・あきら
1943年、北海道生まれ。69年にデビュー、72年に日本テレビ「太陽にほえろ！」の島公之刑事（愛称・殿下）役に抜てきされる。映画最新作は北野武監督「龍三と七人の子分たち」。

2015年10月30日付「毎日新聞（夕刊）」

2016年11月27日　第6回 「ふろタンインタビュー」

「ミャンマーの手しごと雑貨の店」

ミャンマー祭り2016の「dacco.」のお店
ミャンマーの伝統技術の継承

11月の恒例行事になった「ミャンマー祭り」、会場の芝の増上寺の正門を入ったところにあるテントの店「dacco.」、客で賑わう店の前での突撃インタビューです。

和田直子さん

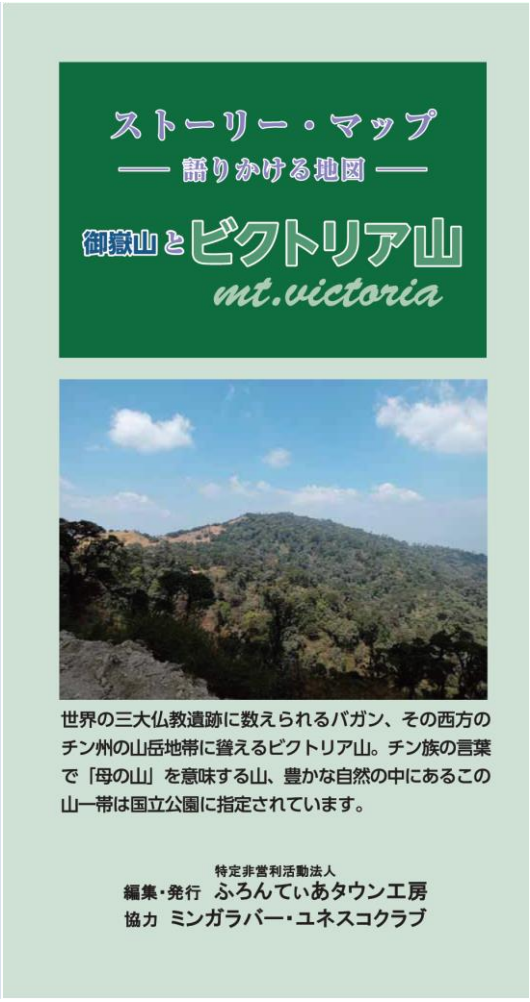
「dacco.」ヤンゴン店

和田さんは
母から子へ伝えられてきた繊細な編み物技術など
ミャンマー各地の伝統的な工芸品づくりを支えてきた
職人さんの技を適正な報酬で広く流通させたいと
2010年にヤンゴンで手しごと雑貨の店
「dacco.」を立ち上げました。

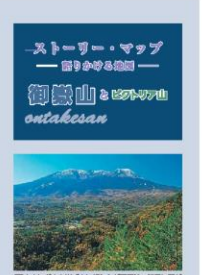
日緬交流型スタディツアーに向かって！

ふろんてぃあタウン工房が製作した「ストーリーマップ」 ー語りかける地図ー

御嶽山とビクトリア山が表裏一体となって山を愛し大切にする人たちに語りかける地図が、「ミャンマー祭り2016」でデビューしました。



協力；木曽ユネスコ協会
ミンガラバー・ユネスコクラブ



「日本人ほど山を愛し、山に親しんだ国民は、世界に類がない。国土は山々で満ち溢れ、国中は山々に囲まれ、山は日本人の心の底にいつも山が居った」

―「日本百名山」（岩波文庫）の「解説」より

電気通信研究会法人
編集・発行　ふるさとでいあタウン工房
協力　木曽ユネスコ協会

「日本百名山」と御嶽山

1964年新潮社から出版された「日本百名山」（深田久弥著）の冒頭には、次のような書出しで始まります。「60番目（3067M）新潟県と長野県の境にある、日本アルプスの中に入れられず、このほうが好きである。そういうカテゴリーからはみだしている。北の方、中央近く、東の方と、アルプスは国内をつらぬいている。そんな中央に入り込んだ、とりいれたり、高原状と言っている。そしてこれを見て、山から谷に向かうあのうねりが中腹のあたりに、「それが一番この山を美しくしているのであろう。皆から本当の御嶽さんは東でも眺めたらだめだ。御岳の山になったこのうなずけ」と書いています。そもそも本「全ページは御嶽の山」、最初の山で書って、ビッケルに出し南のアルピニストは、最初者のような感じである」と書かれています。

「日本百名山」の「58 御岳」から、南にやや離れて望める「59 乗鞍岳」、さらにそこから約10数キロ離れた新潟県を望むところに望める最北端が「穂高山」です。北アルプスの北端「54 雲ヶ谷」「55 鑓ヶ岳」から遠く望めていたのか、あるいは御嶽神の姿や富士神の「五山岳」に少でも白馬岳に金剛岳の姿が見られるアルピニズムとは少し違う新潟県の山の せいか、「穂高山」の最南端に位置するのに、皆から「白山」が見行する「山岳」のアルパインガイドでも、「北アルプス」皆から外れて「中央アルプス」に南寄り状態、最北公園・最北公園のエリアに中入りずに、最高と見える「高峰の山」です。

深田さんは、この本の「解説」で「日本でいい山をすべて言い、その中から百名山を選んでみようと思いついたのは、戦争時のことであった」こと、戦時中一般不自由、戦時下であり、「山岳」「旅行」「紹介」の二つの戦時下に設定した「山岳」を紹介することのは、「国家の中に完成した」と書いています。

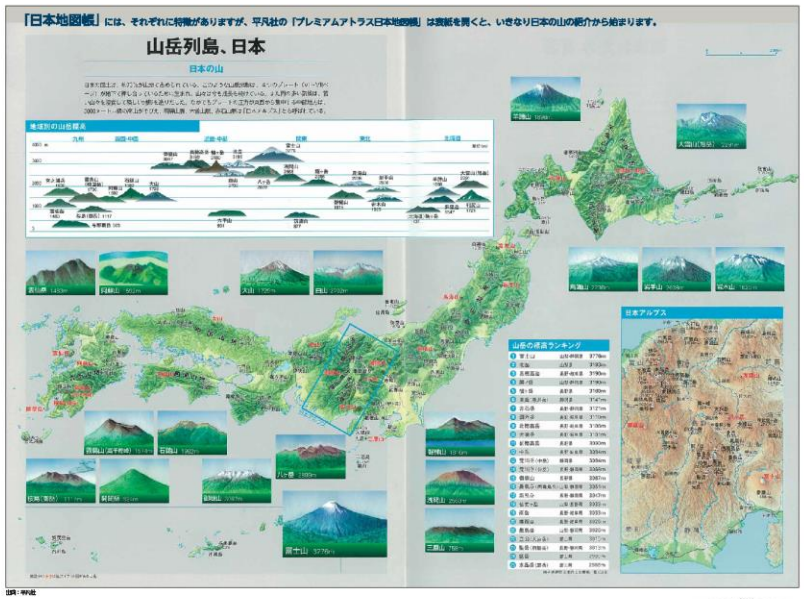
この戦時を経験した登山が分る「山の名前」は半世紀前の時間を経ぬ。今でもこの本を使い、「日本百名山」を目指してその歩が進天の者を使しみながら登っている、山好きの人たちが増多いです。

深田さんは 1971年3月、百名山にはない「夢が目」の山頂近くで倒れ込んとなりましたが、くくなられて 40 年を迎える歩月が過ぎた今、書店の山のコーナーの棚には、「この百名山」あるいは「百名山」などと「名山」のタイトルがついた本が数多く並んでいます。

そのなかにあった二冊の本、ひとつは研究社の「なるほど実践版 日本の山」、特徴グラフ日本百名山で紹介するこの「実践」は、全ページに山の実践が記載した実践ひとり旅「日本百名山」です。

もう一つは、文藝春秋社の「Number Do 2013年臨時」が「日本百名山 再発見本の山はもっと遊べる」という特集本出版でした。「百名山には山の楽しみ方がある」と、「「百世り」「地図」「地図」「山スキー」など登山の山の楽しみ方からマニアック山の姿がなで、パラエティーに富んだ山とのつきあいかが満載の本です。

深田さんは、山には山々の世りがあり、人それぞれの「百名山」の世り方を示されていたと伝えられていますが、「トレイルラン」「ヒルクライム」などと新たされている最近の世り方・楽しみ方まで紹介していたでしょうか。


「日本地図帳」には、それぞれに特徴がありますが、平凡社の「プレミアムアトラス日本地図帳」は表紙を開くと、いきなり日本の山の紹介から始まります。
山岳列島、日本
日本の山
地域別の山岳概況
山岳の標高ランキング
日本アルプス
富士山
大山
白山
乗鞍岳
御嶽山
穂高岳
槍ヶ岳
剣岳
立山
鳥海山
月山
飯豯山
磐梯山
八甲田山
岩手山
八幡平
鳥海山
焼岳
浅間山
三宅島
雲仙岳
阿蘇山
霧島山
桜島
宮之城岳
開聞岳
宮崎県
鹿児島県
沖縄県
大東島(北)
大東島(南)
南鳥島
沖ノ鳥島
南西諸島
小笠原諸島
伊豆諸島
伊豆半島
房総半島
三浦半島
能登半島
佐渡島
隠岐島
対馬
壱岐島
五島列島
種子島
屋久島
奄美大島
沖縄本島
宮古島
石垣島
与那国島
尖閣諸島

ストーリー・マップ
―― 語りかける地図 ――
聖峰山 & ビクトリア山
mt.victoria

世界の三大仏教遺跡に数えられるパガン、その西方のチン州の山間地帯に聳えるビクトリア山。チン語の聖典で「母の山」を意味する山。豊かな自然の中にあるこの山一帯は聖公園に指定されています。

特定非営利活動法人
編集・発行 ふるんていあタウン工房
協力 ミングラバー・ユネスコクラブ

「世界地図帳」で ビクトリア山を探してみる

中高生が地理を学ぶのから、概況に比べ現在まで日本では、「世界地図帳」は多くの出版社が刊行しています。その度つかを手に取って、「ビクトリア山」を探してみても、載っている地図帳はなかなか見つかりません。でも少し分厚い地図帳の所引で探すと、「ビクトリア（ヴィクトリア）」の文字が並つか並んでいる地図帳に出会えます。イギリス人が上陸を待っていたとしのれるビクトリア王国。19 世紀後半頃はアフリカ・アジアなどに進出帝国主義に進めた当時に、海軍を模倣した「ビクトリア」の名は、世界中の多くの土地に残されているのです。ビクトリア島はカナダ、ビクトリア川はオーストラリア、ケニア・タンザニア国境に接するアフリカ大陸最高峰キリマンジャロの近くにはビクトリア湖、ビクトリア滝もアフリカにあります。そして 以は？ ミャンマーとビアアニューボニアにあるこつの「ビクトリア山」に、たどり着きます。

このガイドマップは、ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市郊のチン州にある「ナマタン（旧名：ビクトリア山）」、ナマタン国立公園の中にある 3,053M の山の紹介マップです。

「ふるんていあタウン工房」は、UR 都市機構ワンダーフォーゲル倶楽部のメンバーが中心になり、「ゆめ・楽しいまちづくり・環境づくりを使った日本のニュータウンの開発技術を活かし、ミャンマーの国際（フロンティア）の地域の「はぐくり」は地域力を高める環境保全活動」と「まちづくり」は農の村の生活を向上させる地域おこし活動」を目指して、2014 年 6 月に設立した特定非営利活動法人です。

設立当日に参列した「フロンティアまちづくり読本」で「ビクトリア山プロジェクト」と名づけた活動を提案し、第 1 ステップ「知識」として、ナマタン国立公園周辺の農地や村で育てるルールづくりへの協力、日本の旅行社と連携して新しい可能のトレッキングツアーを企画し、自然を愛する多くの旅行者を誘入れて、おはこし技術の再開発を目指すなどの取り組みを始めています。

―聖峰の村周辺に暮らすのスケッチ―

ミャンマーの最高峰であるナマタン（ヤ中のニーママイン）は、ゆかりしいの自然を支えてきた自然の土と水を育いて成れ天川。聖地の所有 3 万ヒ近の森林とする「民の森」で、ヤンゴンからバガン・マンダレーへと北北東方とその間、上流の中部・インドとも国境を接しミャンマーセマラ王国のしたアルビルスとの合流、そこに連携アジア高地のエネクラ平山（2800M）が聳えます。

もう一つの聖の地域は、新の国イイ中の西に連接のエネルニャマイ上流から、北西に向かって延くハヴンゴ川の地域のエセ・ンザンを辿る。その北に山とアトラ山が聳えています。この地域にあるマザー聖区とナン河を結ぶ「知域高地」で 対地図帳「ビクトリアのパリメント」で。

「フロンティアをつくり 1 歩ゆ」では、聖区と村がキを探で民と対話を開始に、「ビルマの聖地の地域」と 仕方入力を始めています。

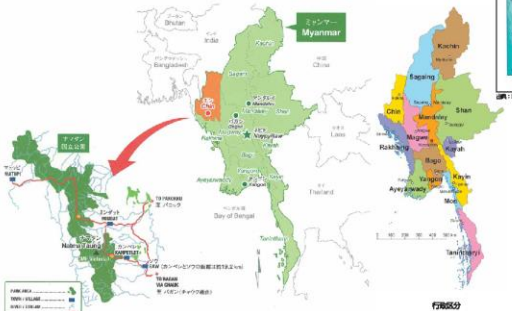
ワンダーフォーゲル（渡り鳥）キミは何処の「自然」を目指しておはたくのか。

出典：「ニッポンバック・地図帳 大陸から大洋探検の旅」二宮書店

「世界地図帳」で見つけた「ビクトリア山」（3053M）

出典：「世界地図帳」昭文社

ナマタン国立公園位置図



行政区分

出典：「ビルマ・ミャンマー・国に関する基礎資料集」（平成 7 年）（財）海外技術協力事業団（現 JICA）ビルマ・ミャンマー国 JICA 事務所
（参考）（参考）公開法人 地球環境戦略研究機関 地球温暖化対策研究室 地球温暖化対策研究室

The fourteen administrative divisions of Burma (States and Regions)
出典：ウィキペディア・コモンズ (Wikimedia Commons)

植生図

出典：「東京都緑化協会編 環境保全緑化技術」

山麓の生活風景

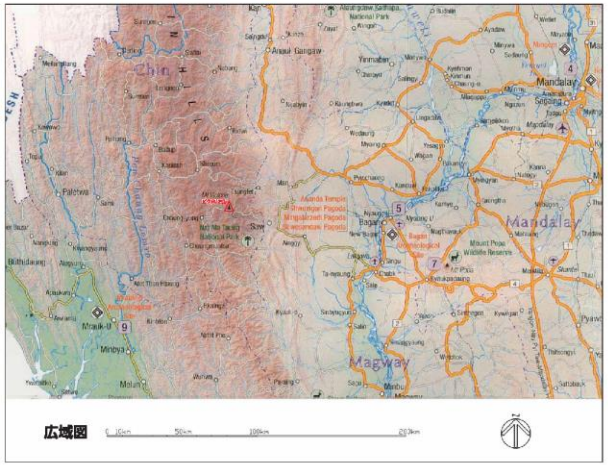
ビクトリア山の花々

「登山道の花々」

3000M を超える山頂まで森に咲われ、花々は光気に輝いている

「山麓の花々」

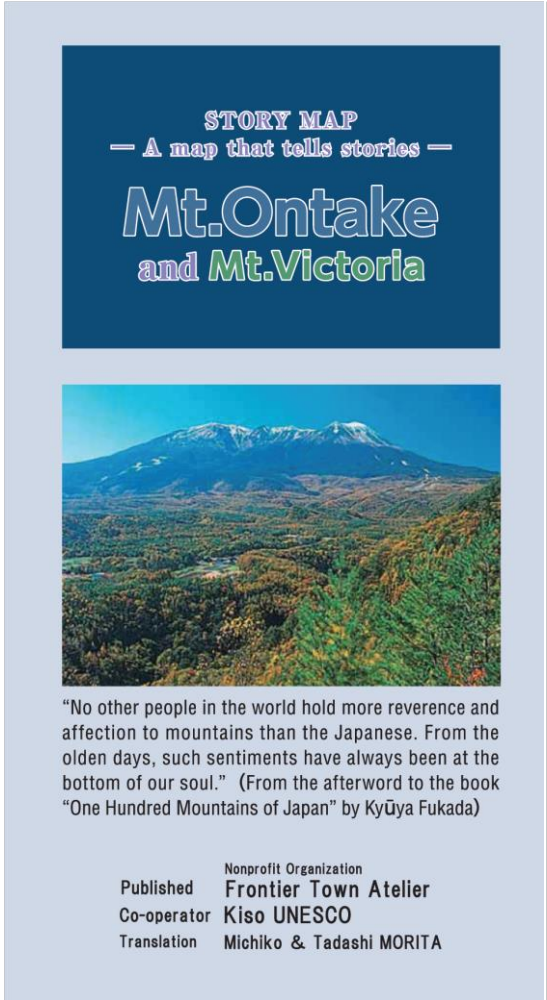
登山道地のロッジの周りでも、色々な花々を見ることができる

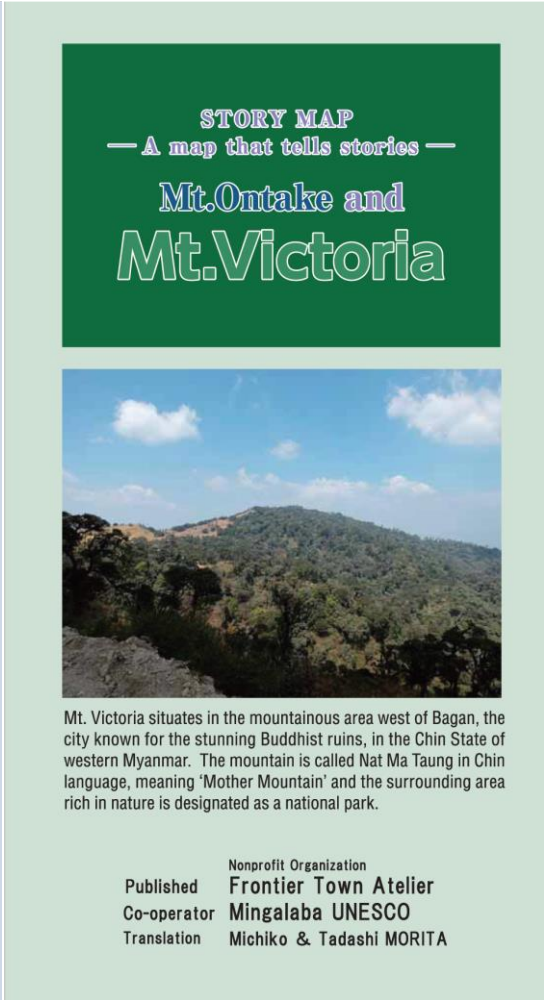

Chin
Mandalay
Magway
Pakokku
Myingyan
Minbu
Pyay
Taungoo
Bago
Yangon
Mawlamyaing
Dawei
Kyaukse
Meiktila
Pyinmana
Naypyidaw
Pyapon
Myeik
Kawthoung
Mawlamyine
Thaton
Hpa-An
Loikaw
Taunggyi
Lashio
Kyaukpyu
Sittwe
Maubin
Pathein
Hakha
Kalay
Monywa
Shwebo
Myitkyina
Bhamo
Lashio
Kyaukpadaung
Pyinmaana
Ayeyarwady
Sagaing
Mandalay
Magwe
Bago
Yangon
Mon
Kayin
Tanintharyi
Ayeyarwady
Rakhine
Kachin
Shan
Kayah
Chin

ストーリーマップ　ー語りかける地図ー

「御嶽山とビクトリア山」

英訳版とセットで販売しています



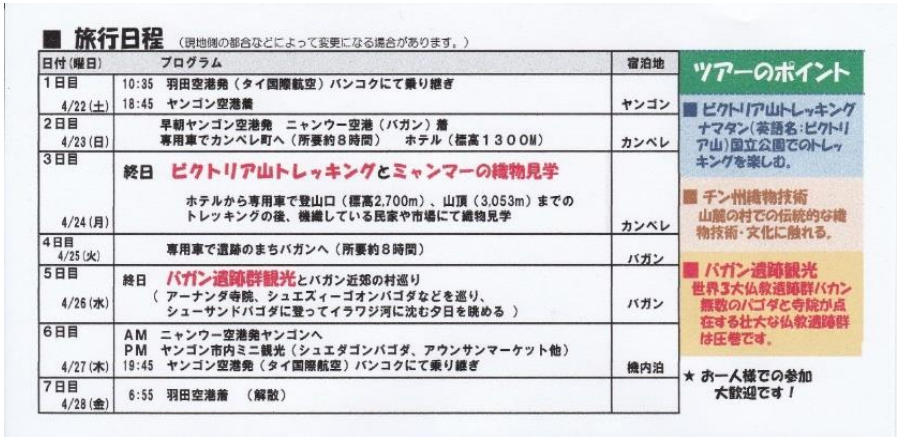


日本とミャンマーとは、ビルマの時代からの長い歴史の中で、深い交わりがあった国です。

両国の「山と共に生きる地域づくり活動」に取り組む町や村が互いに協力し、親交を深め、『手を繋ぐ名山・山麓都市友好交流ネットワーク』を形成する…この「ストーリーマップ」は、そんな「夢」に向かうガイド役になりたいと思っています。

ふろんてぃあタウン工房が目指しているのは、日緬双方向交流型の新しいスタイルのスタディツアーです。

日本発の第1回ツアーは
ストーリーマップを手にして出かける
ビクトリア山トレッキングと
チン族が育んできた
織物技術見学を組み合わせた
スタディツアーです



■ 旅行日程（現地側の都合などによって変更になる場合があります。）

日付（曜日）	プログラム	宿泊地
1日目 4/22（土）	10:35 羽田空港発（タイ国際航空）バンコクにて乗り継ぎ 18:45 ヤンゴン空港着	ヤンゴン
2日目 4/23（日）	早朝ヤンゴン空港発 ニャンウー空港（バガン）着 専用車でカンペレ町へ（所要約８時間） ホテル（標高１３００M）	カンペレ
3日目 4/24（月）	終日 ビクトリア山トレッキングとミャンマーの織物見学 ホテルから専用車で登山口（標高2,700m）、山頂（3,053m）までのトレッキングの後、機織している民家や市場にて織物見学	カンペレ
4日目 4/25（火）	専用車で遺跡のまちバガンへ（所要約８時間）	バガン
5日目 4/26（水）	終日 バガン遺跡群観光とバガン近郊の村巡り （ アーナンダ寺院、シュエズィーゴオンパゴダなどを巡り、シューサンドパゴダに登ってイラワジ河に沈む夕日を眺める ）	バガン
6日目 4/27（木）	AM ニャンウー空港発ヤンゴンへ PM ヤンゴン市内ミニ観光（シュエダゴンパゴダ、アウンサンマーケット他） 19:45 ヤンゴン空港発（タイ国際航空）バンコクにて乗り継ぎ	機内泊
7日目 4/28（金）	6:55 羽田空港着 （解散）	

ツアーのポイント

■ ビクトリア山トレッキング
ナマタン（英語名：ビクトリア山）国立公園でのトレッキングを楽しむ。

■ チン州織物技術
山麓の村での伝統的な織物技術・文化に触れる。

■ バガン遺跡観光
世界3大仏教遺跡群バガン
無数のパゴダと寺院が点在する壮大な仏教遺跡群は圧巻です。

★ お一人様での参加大歓迎です！

みすずライブラリー

アウンサンスーチー演説集

伊野憲治編訳

アウンサンスーチー演説集

伊野憲治編訳

みすずライブラリー

9784622050018

1910331028842

ISBN4-622-05001-3

C0331 P2884E

定価 2884円
(本体 2800円)

アジアの女性として初めてノーベル平和賞を受賞したアウンサンスーチー，彼女は，ミャンマーの民衆に何を語り，訴えかけたのだろう．本書からは，その生の声が聞こえてくる．〈人は権力によって堕落するのではなく，恐れによって堕落する〉ここには，ガンディーの非暴力主義の思想を継ぎ，父アウンサンの道を実践する彼女の姿が鮮やかに映されている．そして彼女は，ミャンマーの民衆とともに一つの夢を抱く．〈誠実さ（ティッサータヤー）をもって，全ての人々が行動すれば，私たちの国は繁栄するのです．国が繁栄すれば，後世の人々は，尊厳をもって，世界の中心に位置することができるでしょう〉．

出発の1週間前の11月8日ミャンマーでは国の総選挙が行われ、アウンサンスーチー氏の率いる野党・国民民主連盟(NLD)が議席の8割を獲得し大勝、政権移譲を拒む何らかの世情不安があるのではとの不安を抱きながらの出発であったが、現地入りしてそれは全くの取り越し苦労であったことがわかった。

誰もが民主化開放に向けた勝利を静かに受け止め、発展を信じているようで、この国の活力に未来を感じた。（第3次隊帰国報告書「OYAJI3匹ナマタンを目ざす」より抜粋）

みすず書房

ふろタン通史
其の参

END

「ストーリーマップ」購入希望の方は、ふろんてぃあタウン工房のホームページ・出版コーナーからお申し込みください。　http://www.sun-net.cc/machidukuri/